

Bell Forum

ベルフォーラム

地域と職員とともに栄えるチーム

医療最前線

脳神経外科の挑戦

連載 登録医のご紹介

TOPICS

大阪府より感謝状をいただきました
第一回在宅医療連携交流会を開催して
新人野外研修に行ってきました
新病院のご案内

2014
Autumn
No.45

大泉緑地公園

脳神経外科の挑戦

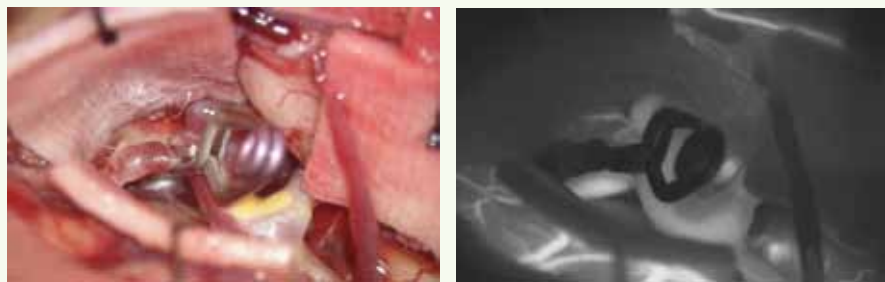
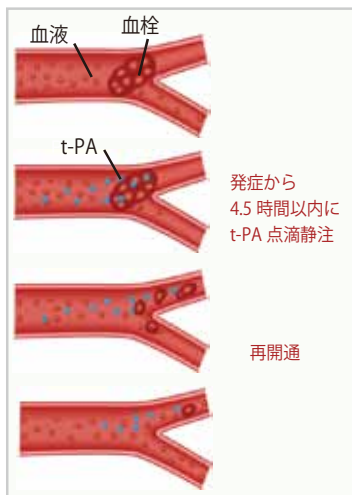
脳卒中の早期発見、早期治療への取り組み 患者さんの一日も早い社会復帰を目指して

近年の高齢化に伴い、脳卒中の発症率は増加傾向にあります。現在、脳血管疾患は死亡率では悪性新生物・心疾患・肺炎に次いで第4位ですが、寝たきりの原因疾患では約32%を占めており、第1位です（平成22年度）。また脳卒中は突然発症するために、日頃の予防はもちろんですが、早期発見・早期治療が非常に重要となります。そのため当院では、24時間365日、脳卒中症例の受け入れ態勢を整えており、常に迅速に最新の画像検査や治療を行えるようにしております。

t-PA 治療

現在、脳卒中の中では、虚血性脳血管障害である脳梗塞が約70%を占めています。t-PA 治療は2005年より日本でも承認となった、脳梗塞急性期に対する血栓溶解療法です。これは薬剤の投与によって直接閉塞した血管の血栓を溶かして、血流を再開させ、壊死に至る脳組織を救うという画期的治療です。現在では発症から4.5時間以内の投与禁忌症例を除く脳梗塞症例に対しては、血栓溶解剤であるt-PA（アルテプラゼ）を静脈投与することにより、非投与群に比べて約50%予後の改善が見込まれるために、t-PA 治療が第一選択となっております。

ただし、この治療の施行に当たっては、投与にあたって講習会を受講した脳卒中専門医や、集中治療室の完備・24時間体制での画像検査、外科的治療が可能である等の施設基準が必要で、当院でも2013年4月よりt-PA治療を開始しております。2014年4月17日の時点でこれまで43症例にt-PA治療を行っており、23症例(53.5%)で退院時に日常生活の自立を得ています。ただ、まだまだ全脳梗塞症例がこの治療の恩恵を受けるには至っており、今後さらに迅速な受診が望まれます。



術中ICG血管撮影:脳動脈瘤クリッピング術で動脈瘤にクリップをかけている。ICGという色素を注射して、手術顕微鏡に備えられた特殊なフィルターを用いることで、血管内の血流が白く光り、脳血管内の血流が正常に流れていることを確認できる。

エビデンスに基づいた医療の提供

近年、各疾患で様々な診断・治療ガイドラインが作成されており、常に科学的根拠に基づいた医療の提供が求められています。当院でも、日本脳卒中学会のガイドライン 2009 に基づいて、個々の症例に応じた最適な治療を行うように心がけております。

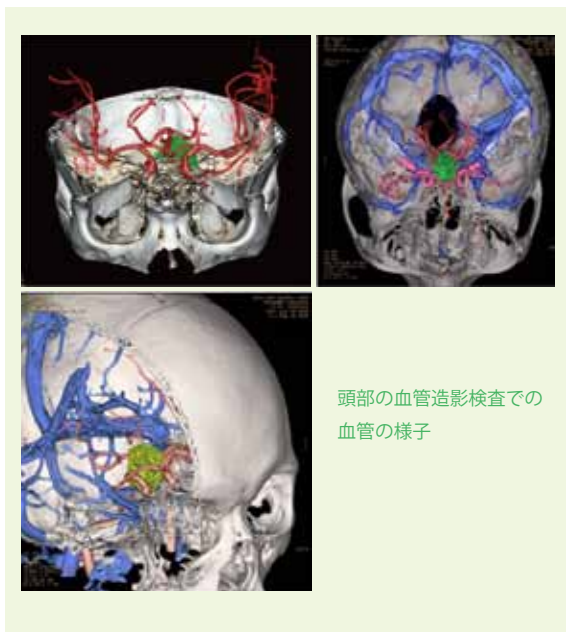
脳卒中治療は、発症前の予防的治療と発症してからの急性期治療、さらにリハビリテーションや慢性期の再発防止に分けられます。予防的治療としてはくも膜下出血予防である、未破裂脳動脈瘤治療や、脳梗塞予防である、頸動脈血栓内膜剥離や脳動脈バイパス術が挙げられます。これらは脳血管造影や CT アンジオグラフィー、脳血流シンチグラムなどで詳細に病変を検討し、症例ごとに厳密に治療適応を決定することになっています。また、急性期治療では早期のリハビリテーションが非常に重要であり、当院では理学療法 (PT)・作業療法 (OT)・言語療法 (ST) の 3 本柱で早期リハビリの質と量を確保しております。さらに回復期リハビリ病院との連携や当院登録医との慢性期での再発予防等の連携も行っており、切れ目のない治療を行えるよう目指しています。

合併症を最小限に抑えるために

脳卒中の手術治療はいずれの疾患でも血管を扱う手術ですが、当院では 2014 年 4 月からは手術顕微鏡に術中 ICG 血管造影が可能な機器を導入しております。これは ICG という蛍光色素を用いることにより、動脈瘤クリッピング術などで、正常血管の血流を確認し、術後の合併症を最小限に抑えるためのものです。この術中 ICG 血管造影の導入により、手術中に正常血管の血流不全が生じる可能性が著しく軽減されました。また同時に術中運動誘発電位モニタリングも行っており、可能な限り、術後の運動麻痺等の合併症を防ぐ努力を行っております。

新病院に向けて

現在脳神経外科はスタッフ 4 名で診療にあたっています。新病院では、3 テスラ MRI2 台と 1.5 テスラ 1 台、64 列の CT3 台となり、脳血管造影装置もシーメンス社製パイプレンの最新の機器となり、今後さらに質の高い医療を目指していきます。また回復期リハビリ病院、地域のクリニックや診療所との連携を密にして、退院後も安心のできる医療を提供していきたいと考えています。



MRI：画質の追求と検査環境
GEヘルスケア ジャパン
Discovery MR750w3.0T (70cm 大口径、静音性)

血管造影装置：全身の緊急対応と被ばく低減
シーメンスジャパン
Artis zee BA Twin (全身対応パイプレン、低被ばく)



CT：画質の追及と被ばく低減
GEヘルスケアジャパン
Discovery CT 750 (スペクトラル、高分解能)

略歴

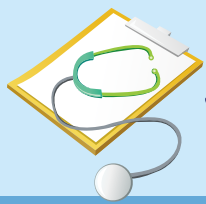
昭和 63 年 奈良県立医科大学 脳神経外科 研修医
昭和 64 年 大阪警察病院 医員
平成 4 年 独協医科大学 臨床助手
平成 10 年 奈良県立医科大学 助手
平成 11 年 - 平成 13 年
エール大学 コロラド大学 留学
平成 15 年 奈良県立三宝病院 脳神経外科 部長
平成 16 年 大阪南医療センター 脳神経外科 医長
平成 25 年 ベルランド総合病院 脳神経外科 部長

脳神経外科 部長 浦西 龍之介

資格等

日本脳神経外科学会：専門医
日本脳卒中学会：専門医





登録医のご紹介

井上クリニック

いのうえ よしかず

院長 井上 嘉一先生

内科・循環器内科・老年内科



星座：かに座

血液型：A型

趣味：ゴルフ、ドライブ、旅行、ドラマ演奏



住所：堺市南区三原台 1-2-3 ルルポ泉ヶ丘 1F 医療モール
TEL：072-295-0810

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 祝 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00～12:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ☆ | × | × |
| 17:00～19:30 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | × | × |

☆ … 9:00～13:00

※ 休診日：木曜・土曜の午後、日曜、祝日

Q. 医師を目指したきっかけは？

A. 小学生の頃より医学に興味があり、ブラックジャックを全巻読みあさっていた。自分も神業のように病気を治せたらいいなと思っていた。

Q. 診察の際に心がけている事は？

A. やさしく丁寧に接することは当たり前ですが、患者を他人と思わず、家族が病気になった事と考えて、親身になって接することを心がけています。

Q. 地域医療について

A. 地域のかかりつけ医として、どんな些細なことでも相談できる医院を目指しています。訪問診療も行っていますので、よろしくをお願いします。

Q. ベルランド総合病院への希望・要望

A. いつも検査や診療依頼を迅速に対応して頂き、ありがとうございます。

Q. 最後に一言お願いいたします。

A. まだ開院して5年足らずですが、皆様に信頼して頂ける医院になるよう、日々努力していきます。

新規登録医

狭山市

ひだまり訪問クリニック

こぼやし まさし
小林 政司先生

登録医件数 H26.4.20 現在 359 件

セミナー開催予定

11月15日
(土)

第18回地域医療懇話会

■ 当院診療科のご紹介

| | | |
|--------|-----|-------|
| 急病救急部 | 顧問 | 坂田 育弘 |
| 心臓血管外科 | 部長 | 南村 弘佳 |
| 中央放射線部 | 副部長 | 則久 佳毅 |
| 外科 | 部長 | 川崎 誠康 |
| 肝胆膵外科 | 部長 | 小川 雅生 |

■ 新病院について

院長 亀山雅男

第17回健康塾

健康の第一歩は・・・



口から でしょ!

口の中をきれいに保つことは
とっても大事!!
ご家族のケアをするときに最低限必要なこと、
続けるために大切なことについて
お話いたします。

日時：平成26年 10月9日 (木)

午後2時半～3時

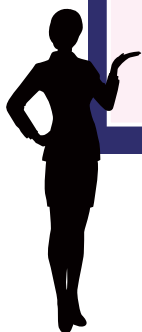
場所：ベルランド総合病院
AIFホール

講師

たまがき歯科クリニック
院長
玉垣剛志

お問い合わせ：地域医療連携室

TEL 072-234-2001 (代)



第一回在宅医療連携交流会を開催して

患者相談・地域連携部 副部長 村上佳代

今回の診療報酬改正における重点項目が「医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等」に絞られ、急性期病棟の絞り込み、地域包括ケア病棟入院料の新設など、病床の機能分化と在宅連携の強化へ向けた施策が数多く盛り込まれました。在宅医療推進の方向性はますます明らかになっています。

今後の泉北地域での在宅連携について、地域の多職種交流、課題の共有を明確にするため、5月17日（土）、128名の参加者と「地域の在宅連携について語ろう」をテーマにワールド・カフェ方式によるグループワークを行いました。

看護学校の講堂を使い 19グループで、色々な職種の視点から大いにディスカッションでき、有意義な研修となりました。研修終了後のアンケートでも参加者の皆さんから高い評価をいただきました。

会の最後には、参加者が在宅医療連携で一番大切と思うこと、課題と思うことを書いていただきました。結果は以下の通りです。

1. 医療と介護に携わる多職種間でお互いを理解すること
 - ①それぞれの情報を共有すること
 - ②お互いの立場や役割を理解しあうこと
 - ③人と人の繋がりを深めること
2. 家族支援
 - ①家族との関係作り
 - ②家族指導・教育
3. 地域環境
 - ①地域での在宅医療支援体制の整備
 - ②地域づくり
 - ③チームづくり
4. 経済力
 - ①経済的支援の制度化
 - ②地域にマッチした政策
5. 行政の関わり
 - ①制度改革
 - ②積極的な関わり
6. 認知症に関する理解と対策
7. 患者・家族本意の在宅移行
8. 在宅医・調剤薬局と病院勤務医・病院薬剤師とのコミュニケーション
9. 医療職・介護職の人材不足



今回のワールド・カフェでは、大きなテーマ1つだけでも視点を変えるだけで多くの問題が浮かび上がり、期待通りの成果が得られたと思います。在宅医・言語聴覚士の数、歯科医師の嚥下評価、看取りとは何か、費用問題、家族ケア、独居老人の認知症の対応など、在宅移行を実際に行うには多くの課題も残されている現状が明らかとなりました。具体的に解決できるものから地域の多職種と共に取り組んでいきたいと思っています。



第9回泉北地区病診連携皮膚科の会を開催しました

薬剤部 副部長 中井由佳



(左) 成田智彦先生
(右) 川原繁先生

7月5日、ホテル・アゴーラリージェンシー堺において第9回泉北地区病診連携皮膚科の会が開催されました。

特別講演Ⅰでは「気をつけたい皮膚悪性腫瘍とその治療」と題して、近畿大学医学部皮膚科医学部講師の成田智彦先生が良性疾患との鑑別、患者さんのQOLを考慮した手術などについて、多くのスライドを用いて詳しくご講演されました。

特別講演Ⅱでは金沢赤十字病院皮膚科部長の川原繁先生が「保育所における感染症対策ガイドライン」「よくみられ

る皮膚感染症と治療上の工夫：とびひから水虫まで」のテーマで、他の疾患との鑑別や、日常生活における工夫まで幅広くご講演されました。

この「皮膚科の会」は毎回、多職種の方が参加されるのが特色であり、今回も93名の参加を頂きました。講演中、熱心にメモをとられる参加者も散見され、皆さんに興味を持って頂けたと感じています。

来年は第10回の特別記念講演を開催する予定です。



福井大学 林寛之教授による特別講演に参加して

臨床研修室 呉 裕介



2014年4月25日(金) ホテルグランヴィア大阪で研修医向け特別講演が開催されました。今回は、NHKの番組：Dr.Gにも出演し、また研修医の多くが一度は手に取る教科書も数多く執筆されている福井大学 ER・総合診療部：林教授をお招きして、「Unsuspected killer～救急&非典型例に強くなる～」というテーマで講演していただきました。

私も学生時代より先生の著書に大変お世話になっていたファンの一人ですので、この機会を大変楽しみにしていました。

実際受けてみた講演は、噂に違わず軽快なトーク、手の込んだスライド、視聴者参加型のスタイルと2時間近くがあっという間に過ぎ去っていくような楽しいものでした。内容に関しても、教科書だけでは知りえない豊富な実臨床経験ならではの内容について、裏付けとなる論文のデータも交え説明いただき、大変意義深い内容でした。

判断ミスが直ちに死につながる一方で、落とし穴も数多く存在する救急診療を今後も行っていくうえで、有益な知識に数多く触れる経験が出来ました。



アナフィラキシーショックの
レクチャーの様子

大阪府より感謝状をいただきました



平成 26 年 4 月 急病救急部 坂田育弘顧問が、永年にわたり大阪府消防学校において救急救命士教育の推進に寄与したことに対し、大阪府知事より感謝状を授与されました。

坂田顧問は、平成 14 年に近畿大学医学部救急医学教授に就任し、平成 18 年には近畿大学医学部附属病院救命救急センター長として、地域救急医療の中心的な役割を果たしてきました。平成 26 年 2 月、ベルランド総合病院に入職後は急病救急部顧問として大阪府南部における救急医療の発展に貢献するとともに、病院内における医師、看護師、救急救命士の良き指導者として人材育成に努めております。

今回の表彰は坂田顧問の功績に授与されたものですが、ベルランド総合病院にとっても大変な名誉であり、坂田顧問の指導を仰ぎながら地域における救急医療のお役にたてばと願っています。

管理部 部長 武部克広

急病救急部顧問 坂田育弘



坂田顧問から一言

平成 26 年 4 月 14 日大阪府知事より大阪府立消防学校救急救命士教育の推進に寄与した事に対し感謝状を頂きました。これは私が大阪府立消防学校教育推進委員として 20 年余りに渡り救急救命士の教育に携わっていた事によるものです。委員長との重責を与えられ救急救命士養成課程の運用にも関わらせて頂きました。この感謝状は私が大阪府立消防学校はじめ大阪府行政、大阪府医師会、南河内および堺メディカルコントロール協議会、近畿大学救命救急センター、さらにはベルランド総合病院の多くの皆様からご支援を頂いたことによるものと感謝しております。

救急医療は病院前医療から院内医療への連携が救命に対し大きな要素となります。ベルランド総合病院では病院前医療の核となる救急救命士を急病救急センターに配置し、ドクターカーによる院外活動、病院内における心肺蘇生や病院と消防本部救急救命士との連携に活動しています。我が国ではこのような病院のシステムは少なく今後の我が国の救急医療体制のモデルになると考えています。ベルランド総合病院は高度急性期医療の地域医療支援病院として全診療科と医療従事者が一丸となり引き続き地域医療に貢献していきましょう。



ドクターカー出動時の様子

健康塾を開催しました



気温と湿度の上昇の変化に身体が慣れないことや、野外での活動が増えることにより、梅雨から初夏にかけて熱中症が多く発生します。起こりやすい人や、簡単な予防法について、急病救急部顧問 坂田育弘医師がお話いたしました。参加者の方からは、「昨年輕い熱中症になったので、聞きたいことが聞けて良かった」「予防策が具体的でわかりやすかった。」とのお声をいただきました。

次回の健康塾は・・・
「健康の第一歩は・・・口からでしょ！」
たまがき歯科クリニック 院長 玉垣剛志
10/9 (木) 14:30 ~ 15:00

Japanese Medical Exchange Program に参加して

看護部 科長 がん看護専門看護師 江藤美和子

Japan TeamOncology Program (JTOP) 主催の Japanese Medical Exchange Program 参加者に選出していただき、世界最先端のがん治療・研究・教育を実践する MD アンダーソンがんセンターにて5週間の研修を受けました。

外来クリニックや病棟、多職種チームラウンド、緩和ケア病棟、ホスピスとがん治療に関わる部門を一通り見学し、一番に印象に残ったことは、どの部門においても看護師を含め医療従事者が各自の仕事に誇りをもち、キャリアビジョンを明確に持って自立的に仕事をしている姿です。

MD アンダーソンがんセンターでは、Advanced Practice Nurse (APN) という看護専門家が200名程度在籍し、外来治療室や病棟、クリニックにおいて、医学的・看護学的知識の基盤をもって質の高い看護を実践しており、医師・薬剤師と治療方針について討議して処方オーダーも行っていました。日本では看護師に薬剤の処方権はありませんが、今回見学した APN をロールモデルとして、専門的知識をもとにアセスメントを行って多職種カンファレンスで意見を述べ、患者の QOL 向上を目指したケアの実践を迫及していきたいと考えました。



乳腺腫瘍内科部門 上野直人 教授など、講師陣と仲間たち

またアメリカ最大のがん看護学会である、Oncology Nursing Society Congress にも参加し、現地の教授陣と意見交換を行うなど、様々な看護研究・教育者との交流も体験しました。

今後はがん看護専門看護師として、新病院における緩和ケア病棟と外来の設立、緩和ケアチーム活動のさらなる推進、質の高いケアの実践・教育において、リーダーシップを発揮していきたいと思えます。

がんサバイバーシップ会議に参加して

薬剤部 主任 がん専門薬剤師 渡邊裕之

2014年4月24日～29日アメリカ・テキサス州オースティンで開催された LIVESTRONG Leader 会議に参加しました。

LIVESTRONG とは、がんと診断された人とその家族などを勇気づけ、必要な情報の提供や支援（がんサバイバーシップ）を世界規模で行っている団体です。現在世界で LIVESTRONG foundation から任命された213名のリーダーがおり、私もその一人として参加してきました。

会議は3日間行われ、患者中心のケアとは何か、ソーシャルメディアの有効活用について、そして自分のネットワークをいかに活用してがんサバイバーシップの理解を広げるか、などについて聴講することができました。また、



会場・発表の様子

自身ががんサバイバーである数名のリーダーから体験談について聞く機会もあり、世界のがんサバイバーシップを肌で感じる貴重な機会を得ることができました。これからも、がん専門薬剤師の立場から、がんサバイバーシップの啓発活動と支援を行っていきます。

2014年5月10日 兵庫県三田市
「しい草園有馬富士」有馬富士公園

新入職員野外研修に 行ってきました

新入職員 110名 引率 40名の
総勢 150名です!



みんなでバーベキューをし、山登りをしました。快晴の下、炭火で焼いたしいたけとお肉は、最高においしかったです。また食べたいです。山登りは疲れましたが、お互いを励まし合い、ゴールした時の達成感は忘れられないものとなりました。
(臨床工芸室 上野紗希)



入社式から一か月、先輩方や同期達と野外研修に参加し、BBQ や山登りをしました。普段できないお話も沢山でき、リフレッシュできました。仲間も深まり、これからみんなで素敵な看護師になれるよう頑張っていこうという気持ちになりました。
(看護部 安永玲子)



普段接する機会の少ない多職種の方々と交流を図れ、とてもよい刺激を受けた貴重な1日でした。新入職員が一堂に会している様子は入社式のことを思い出し、改めて初心を忘れず、チームの一員としてこれからも頑張っていこうと強く感じました。
(医療情報課 名田 愛美)



入社して1ヵ月が経ち学ぶことが多く悩むこともあります。自然に触れ合いリフレッシュでき、また交流を深め多くの仲間がいるのだと再認識できました。はやく1人前になれるよう日々の仕事に励もうと思います。
(薬剤科 竹内 亜美)

院内救命士として入社し緊張の毎日でしたが、多職種の方々と交流もあり、医療チームの一員として実感することができました。パートナーが安心して医療を受けられるよう救急救命士一丸となって成長していきたいです。
(ICU 救急外来部門 救急救命士 杉山 諒)

小風が涼しい春の日に、私たちは有馬富士のしい草園に行ってきました。新鮮なしいたけをバーベキューで味わい、公園を散策しながら他部署の方と楽しく交流でき、4月からの新しい環境での疲れをリフレッシュすることができました。
(臨床研修室 金 泰完)



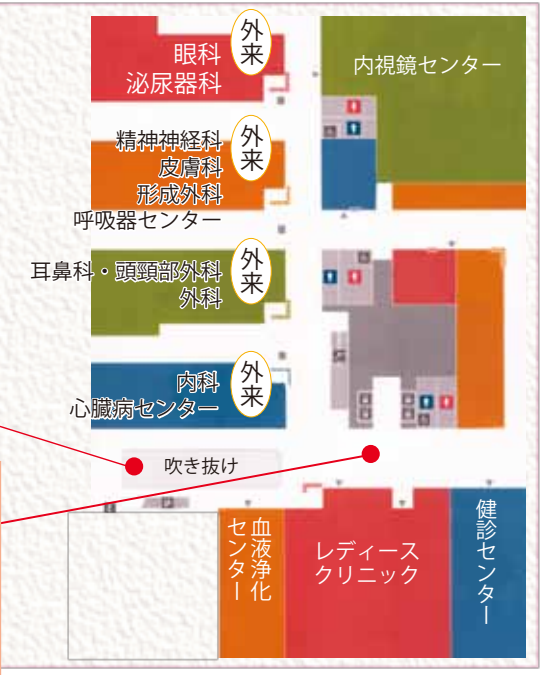
新病院の ご紹介

いよいよ完成間近となった新病院!
その一部をご紹介します。

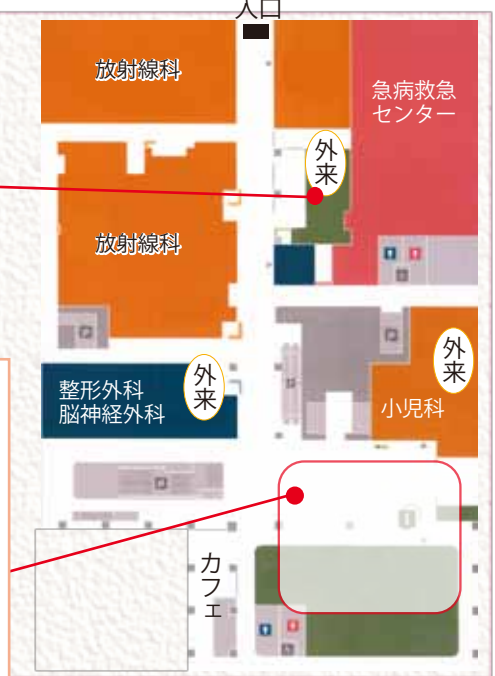
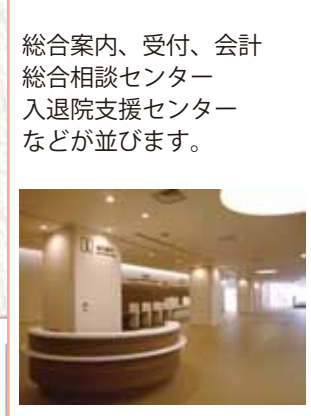


2014年
6月19日撮影

2F



1F



● 移転による休診日

| | |
|-----------------------------------|-------------|
| この期間は 救急を含め、 完全休診と なります。 | 9月12日(金) 午後 |
| | 9月13日(土) 終日 |
| | 9月14日(日) 終日 |
| | 9月15日(月) 終日 |

● ご面会について

入院患者さまの移送に伴い、
9月14日(日)のご面会をご遠慮願います。

● 新病院での診療開始予定

9月16日(火) 午前9時
(午前8時より受付開始)

B1F



内覧会の予定

9月7日(日) 午前中を
予定しております。
ぜひ、ご来院ください。

■ 生長会・悠人会 施設のごあんない

ベルランド総合病院 (堺市中区) Tel:072-234-2001

府中病院 (和泉市) Tel:0725-43-1234

ベルピアノ病院 (堺市西区) Tel:072-349-6700

阪南市民病院 (阪南市) Tel:072-471-3321

人間ドック

ベルクリニック (堺市堺区) Tel:072-224-1717

府中クリニック (和泉市) Tel:0725-43-3500

呼吸ケアセンター

ベルライフケアクリニック (堺市中区) Tel:072-235-3101

不妊専門クリニック

府中のぞみクリニック (和泉市) Tel:0725-40-5033

地域一般診療所

和泉市立和泉診療所 (和泉市) Tel:0725-44-6921

ベルシャンテクリニック (堺市中区) Tel:072-278-1127

介護老人保健施設

ベルアモール (堺市中区) Tel:072-277-7711

認知症高齢者グループホーム

ベルアモールハウス (堺市中区) Tel:072-277-7711

院外調理センター

ベルキッチン (堺市西区) Tel:072-274-0331

ベルキッチン京大事業所 (京都市左京区) Tel:075-366-7635

人材育成

ベルランド看護助産専門学校 (堺市中区) Tel:072-234-2004

サービス付き高齢者向け住宅

ベルヴィオロン (堺市西区) Tel:072-349-6720

ベルシャンテ (堺市中区) Tel:072-278-1111

特別養護老人ホーム

ベルファミリア (堺市中区) Tel:072-234-2005

介護老人保健施設

サンガーデン府中 (和泉市) Tel:0725-46-2001

ベルアルト (堺市堺区) Tel:072-221-7001

特別養護老人ホーム

ベルアルプ (堺市西区) Tel:072-349-6710

ベルライブ (堺市堺区) Tel:072-221-7002

複合型サービス事業所

ベルシャンテハウス (堺市中区) Tel:072-278-1167

保育園

ベルキンダー (堺市堺区) Tel:072-221-7030

ベルキンダー安井 (堺市堺区) Tel:072-232-1188

ベルキンダー安井分園 (堺市堺区) Tel:072-225-0313

訪問看護

ふちゅう訪問看護ステーション (和泉市) Tel:0725-43-9375

ベルアンサンプル訪問看護ステーション (堺市西区) Tel:072-349-6753

ベルシャンテ訪問看護ステーション (堺市中区) Tel:072-278-1172

介護相談

ベル介護相談センター (堺市中区) Tel:072-234-2171

ふちゅう介護相談センター (和泉市) Tel:0725-41-2621

ベルタウン介護相談センター (堺市堺区) Tel:072-221-7004

ベルアンサンプル介護相談センター (堺市西区) Tel:072-349-6752

ベルシャンテ介護相談センター (堺市中区) Tel:072-278-1179

- 複合型医療福祉施設 ベルアンサンプル (堺市西区)
- 複合型福祉施設 ベルタウン (堺市堺区)
- 複合型施設 ベルシャンテ (堺市中区)



※1: ふちゅう訪問看護ステーション・ベルアンサンプル訪問看護ステーション・ベルシャンテ訪問看護ステーション
 ※2: ベルファミリアヘルパーステーション・ベルアモールヘルパーステーション・サンガーデンヘルパーステーション・ベルタウンヘルパーステーション・ベルアンサンプルヘルパーステーション



社会医療法人 生長会

ベルランド総合病院

発行日 / 平成 26 年 8 月 1 日発行

発行 / ベルランド総合病院 地域医療連携室

郵便番号 599-8247 大阪府堺市中区東山 500-3 TEL.072-234-2001(代)

http://www.seichokai.or.jp/bell/